

# 令和8年度 学校自己評価システムシート (埼玉県立久喜工業高等学校)

目指す学校像	「ものづくり」や「体験」を通して「技術」「学力」を身につけ、地域の信頼と期待に応え社会の変化に対応できる人材を育成する学校
--------	---

重点目標	<p>1 個に応じた学力と技術の向上を推進する。 授業内容・指導方法の充実を図る。資格取得等を奨励する。</p> <p>2 基本的な生活習慣を確立し、規律ある生徒を育成する。 欠席、遅刻、早退の減少を図る。服装・頭髪・挨拶の指導を徹底する。</p> <p>3 一人一人の進路希望を実現する。 生徒の職業観や勤労観を育成するとともに、進路希望に応じたきめ細やかな指導を行う。</p> <p>4 地域の信頼と期待に応える開かれた学校づくりを推進する。 中学生やその保護者及び地域に積極的な情報提供を行う。地域行事等へ参加し地域連携を行う。</p>
------	---

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成	(8割以上)
	B	概ね達成	(6割以上)
	C	変化の兆し	(4割以上)
	D	不十分	(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

学 校 自 己 評 価					年 度 評 価 ( 月 日 現 在 )		
年 度	目 標	評 価 項 目	具 体 的 方 策	方 策 の 評 価 指 標	評 価 項 目 の 達 成 状 況	達 成 度	次 年 度 へ の 課 題 と 改 善 策
1	【現状】 授業を意欲的に受けている生徒が多く、教員も日頃から授業改善に取り組んでいる。基礎基本を重視するとともに専門知識の習得及び技術力向上に力を入れている。  【課題】 生徒の学習意欲をより高めるため、授業展開の見直しや生徒が所有するタブレット端末を効果的に活用することが重要である。資格取得に対しても、生徒への丁寧な説明及びきめ細かな指導を継続的に行うことが必要である。	確かな学力の定着と授業力の向上  意欲的に挑戦する生徒の育成	①授業展開の見直しや効果的なICTの活用により、生徒の興味・関心を高めさせる授業を実践する。 ②本校生徒の実情に即した授業内容や授業進度を常に見直すとともに実践する。	①生徒アンケートにおいて、「久喜工高の先生はわかりやすい授業の実施や、興味・関心を高める工夫をしている」と回答する生徒の割合が90%以上か。 ②生徒アンケートにおいて、「私は、授業の内容を理解できている」と回答する生徒の割合が80%以上か。			
2	【現状】 多くの生徒が基本的な生活習慣が身に付いており、落ち着いた学校生活を送っている。登校指導や挨拶・身だしなみ指導など手厚い指導を継続的に実施している。近年、多様な生徒が入学している状況ではあるが、個に応じた指導や支援を組織的にを行っている。  【課題】 遅刻を繰り返す生徒が数名いるため、更なる効果的な指導を組織的に行う必要がある。個に応じた生徒への指導や支援を組織的に行うため、全教職員で情報共有を図り、より一層の生徒理解が重要である。	規範意識と自主性の向上  個の生徒に応じた指導や支援の充実	①登下校指導、挨拶指導、巡回指導を年間10週以上実施する。 ②身だしなみ指導を年間5回以上実施する。 ③生徒指導部や学年の生徒指導担当を中心に組織的な指導を行い、生徒の規範意識を更に高める。	①生徒アンケートにおいて、「久喜工高は遅刻防止指導に、計画的に取り組んでいる」と回答する生徒の割合が80%以上か。 ②生徒アンケートにおいて、「久喜工高は服装・頭髪などに、きちんと指導を行っている」と回答する生徒の割合が90%以上か。 ③生徒指導部や学年の生徒指導担当による、組織的な対応により、遅刻生徒や指導件数が減少できたか。			
3	【現状】 進路指導が段階的に行われているため、就職率・進学率とも100%を継続している。希望する進路の実現に向けて、多くの生徒が積極的かつ自発的に行動している。保護者に対しても、進路行事の案内や進路に対する情報を発信している。  【課題】 生徒の進路実現においては、今後も進路指導の更なる充実を図っていく必要がある。進路指導部や学年の進路担当を中心に組織的に指導を継続していく必要がある。より丁寧な指導を行う上で、保護者に最新の進路情報等を提供することも重要である。	主体的な進路選択と保護者との連携強化  段階的なキャリア教育の充実	①外部で行われる企業との情報交換会等に積極的に参加し、学年で情報共有を図る。 ②保護者に対して、進路研修会などの進路行事や本校HP等において、最新の進路情報を提供することにより、更なる連携を強化する。	①本年度においても、就職率・進学率ともに100%を達成できたか。 ②生徒アンケートにおいて、「久喜工高は、進路決定に向けて、生徒の希望や保護者の期待に応えている」と回答する生徒の割合が90%以上か。			
4	【現状】 生徒募集については、募集人員を満たしていない状況が続いている。学校説明会や体験入学、進学フェアなどにおいて、本校の魅力や強みを提供するとともに本校HPやInstagram等で最新の学校情報などを発信している。  【課題】 工業高校ならではの魅力や強みを更に外部に発信すると同時に、中学生や保護者に来校いただき、実際の施設や設備を見てもらうことが重要である。今後も、地域行事やイベント等に積極的に参加し、本校の魅力や強みをアピールすることも必要である。	効果的な広報活動の実現  地域連携の強化と地域交流の推進	①学校説明会や進学フェア、また本校HPやInstagram等のSNSの活用により、本校の魅力や強みを発信するとともに更なる内容の充実を図る。	①HPの更新回数およびアクセス回数、またInstagramのフォロワー数が前年度より増加したか。 ①本校HP等において、多くの方々にわかりやすく効果的な内容であったか。 ①学校説明会や体験入学の参加者が前年度より増加したか。			
			①地域機関と積極的に連携・情報共有を図り、地域イベントや小中学校、児童センター等との交流事業を継続的にを行い、地域の期待に応える広報活動を実施する。 ②学校説明会や体験入学の内容等を見直し、多くの中学生や保護者が参加しやすい開催方法で実施する。	①地域機関と積極的に連携し、地域行事やイベント、小中学校や児童センター等と効果的な交流が図れたか。 ②生徒アンケートにおいて、「地域から良い学校だと評価されている」と回答する生徒の割合が75%以上か。			

学 校 関 係 者 評 価		
実施日	令和	年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等		